



滋賀新堀ギター音楽院の合言葉は”みんなで市民ギターオーケストラに参加しよう！”

教室入口のドアいっぱい広々とした遠景が望めます。とくに夕焼けは見事です。茜色に染まった空に均整のとれた比叡山のシルエットが浮かび上がり、日毎にその色合いを変えてゆくのです。私が期待して待っているのは、その比叡山の頂上に夕日が沈む日です。年2回しかありません。昨年その光景を目にした時は思わずレッスンを中断し、生徒さんと共にしばし見入りました。大自然の美しさに触れると心が静まり、その後とても豊かな気持ちで湧き上がってきます。私たちの奏でるギター。先ずは自分の演奏する音を“美しい！”と思えなければいけませんね。そこから積み上げていって一つの曲としての美しさをつくるのです。

もうすぐ年の瀬です

20周年のこの年に1000人の大合奏が出来たことは、とても大きな意義がありました。ギターが呼びかけて他の楽器を結びつけ、大きなオーケストラをつくる事が出来たのです。

ふた昔前。ギターは「つま弾く」という言い方をしました。グループサウンドでバンドが主流になりました。フォーク世代はギターを抱えて歌いました。そんな中であって新堀先生はエジプトに行き、ピラミッドの壁面に描かれたギター（の前身）と歌と笛が合奏する様をみて、ギターの持つ大きな役割に気づいたのです。「笛や歌の中にギターが入ることで音楽が楽しくまとまる！」市民ギターオーケストラの原点がそこにあったのです。今回も200名近くギター、ウクレレが参加してくれました。これがあったからまとまったのです。ギターにとっても誇らしいひと時でした。

又、「合奏する」ということにこれだけの人が興味を持ってくれたことに感動です。

無料講習会での出会い。そこで展開されたミニ合奏の楽しさは皆を笑顔にしました。ある意味この活動の方が文化発展の大きな肝だったかもしれませぬ。三澤さんの竹楽器講習会も同じ。

勉強もした一年でした

6月。新堀ギターアンサンブル公演の全曲指揮を任されて、久しぶりに指揮者としての自分を磨く有意義な機会を持ってました。トップ奏者の集うアンサンブルは、指揮者にとって正に真剣勝負の場です。スコアを穴のあくほど読み込み、鈍った腕の振りを鍛え、三回の練習で思い通りの音にする。歴代コンマスも特別参加で、とても楽しいコンサートでした。

ちょっと気になること②

先月、近江八幡市文化祭の事で感想を書きましたが、今月行われた市民音楽祭に参加して更に考え込みました。「文化は簡単に衰退してしまふ」のでしょうか？

音楽祭の参加団体が11。過去は14ありました。しかも、吹奏楽と市民オーケ以外各団体とも人数が大きく減っております。それも、どの参加団体も真面目に一生懸命取り組んでいることが分かります。しかし、寂しいのです。

広い大ホールのステージで6名や10名程のコーラス。フェスティバルという名称ですが、余り特別感のない雰囲気。司会も淡々と。それでも表の看板は立派な手書きで花もついてました。前述した通り、皆頑張っています。が……。どうしたら良いのでしょうか。1000の会と対極にあるように感じました。

それゆけ市民

ギターオーケストラ

「四線譜」という楽譜をご存知でしょうか？ 楽譜なんて五線譜しか無いと思っていましたが、四線譜とは四角い記号（音符）を用いて書き表す記譜法ただ実際は聖歌の歌い方などは完全に口承で修道院の中で伝承されていたそうです。9世紀ごろに（によるよろした線、ネウマ記号）を用いて旋律の動きや演奏上のニュアンスなどを視覚的に伝えようとした。その後、現在に通じる同じ高さの音を同じ線上に揃えて書く表記法の原型が考案されたそうです。楽譜の線が5本に落ち着いたのは17世紀に入ってからのこと。それまでは教会の聖歌隊では音域が二オクターブしか使わないので本楽譜。逆に音域の広い鍵盤楽器では本あるいは7本8本となっていたようので楽譜を統一して煩雑さを無くしようと5本の五線譜が広まったようです。最初は口承で伝承していき、絵線で旋律や音程を視覚的に伝えて覚える（視覚的記憶）方法、現在では録音技術が進み聴いて覚える（聴覚的記憶）方法に頼るほうが多いようです。パソコンの音楽制作ソフトやスマートフォンアプリで楽譜が読めなくても、楽器が弾けなくても、感覚的に作曲が出来た時代になりましたが、これから未来の楽譜は現在とは全く違う物になっているかもしれませぬ。

横山 繁

12月の予定

1月の予定

月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
29	30	31					26	27	28	29	30	31	

◎第5週目は基本的にレッスンはありません。
網掛けの日はお休みです。黄色は時間を注意。

滋賀市民ギターオーケストラ 2026年は1/10、24～桐っ子ホール
ギターアンサンブル湖風 12/6～教室
ふなっこ・あゆっこ合奏団 12/1～教室



〔2026年主な行事〕

- 6月中旬 滋賀新堀ギター音楽院大発表会
- 8月30日 中部関西ギターフェスティバル 愛知
- 11月中旬 近江八幡市民音楽祭
- 12月中旬 新堀ギタークリスマスコンサート